

「初めて役員を引き受けて」と言うよりは、順番が回って来て、引き受けざるを得なかったと言う事でしょうか、「まあ仕方がないか」と自分自身に云い聞かせて仲間入りをした。

それからは、与えられた役割をそれなりにこなしてきた。町会活動が少し解り始めたころ、役員として初めての夏まつり、盆踊り大会へ参加することとなった。

その中で、この町会最大の行事を成功させるため、準備から当日を迎えるまでの間、「役員のみでなく、多くの一般会員の方々が協力し、助け合っている」という事、また、当日は、広場が満杯になる程の会員が集まり、笑顔に満ち溢れた姿を目の当たりにした。驚きと同時に、私自身たくさんの人と知り合い、新しい友人を得た事を思い、町会活動について、「仕方がない」から「やらなきゃ」に変わりつつある自分をみた、と語っていました。

このような町会活動から、会員間の連帯感が高まり、人間関係の気持ちの良さ、助け合いの大切さが生まれ、町会として目指して来たものが、少しずつ芽生え始めた様に感じた大会でもありました。



【富士見台町会】盆踊り



小・中学校の入学式・卒業式・運動会へ招待された際に、毎回感動を覚えます。それは、私達が育った昭和20・30年代とは式典等の構成が大分変わってきている事です。

全ての児童・生徒が主役の役割を持ち、全員助け合いにより、様々なイベントを立派に成功させていま

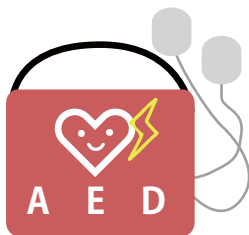
す。親御さん達も我が子の晴れ姿を見てさぞかし感激に心を打たれていることと思います。私には、これが「災害時の共助」の精神として映ります。この先、子供達の成長を大いに期待しているところです。

福生市は昨年到现在「共働き 子育てのしやすい街」として全国第二位に選ばれました。これは「安全・安心の街づくり」の施策が着実に進められている証でしょう。

一方、安全・安心の街づくりに欠かせないのが「地域防災の整備」です。福生市では地震による家屋の崩壊、火事、風水害を誰もが想定しますが、その備えには日頃から災害に対する心構えと訓練が肝心です。

今、鍋ヶ谷戸第一町会では「市の総合防災訓練」の積極的参加や、応急救護(AED)の講習会、立川防災会館の視察・体験学習等々、多くの町会会員が参加しています。次年度には消

火・給水時に必要な「スタンド・パイプ」設置方法の講習会実施も考えています。また、本年度中には



鍋ヶ谷戸第一地区全戸を対象に、町会独自の「地域防災マップ」を配布する予定でいます。

災害時は、何と言っても近所同士助け合いが必要です。被災地で活躍されている方々には多くの「町会・自治会の会員」がいます。まさに頼りになるのは隣近所の他人です。子供達の式典で感激したあの場面こそが、ここに通じてくるものと思います。

高齢化社会の「共助」には若い世代の力がぜひとも必要です。現在、町会未加入の皆様にも改めてご加入の検討をお願いする次第です。災害にも強い街づくりは、地域の結束から始まります。



【鍋ヶ谷戸第一町会】応急救護



志茂第二町会「どんど焼き」

今年も、志茂第一町会が主催する「どんど焼き」(平成29年1月9日実施)が多摩川の河川敷で行われました。

この伝統行事には、多くの方にお越しいただき、無病息災を願っていただきました。きつと、一年間健康に過ごせることでしょう。



「加美公会堂」完成間近!

まもなく、「加美公会堂」の建替えが完了します。地域住民が交流できる場として、より一層の盛り上がりをもせてくれるでしょう。

町会長協議会で「あいさつ運動」を実施

平成28年12月6日早朝、市内5駅で、福生市町会長協議会による「あいさつ運動」が実施されました。

「笑顔」で「あいさつ」されると、気分が良くなることはありませんか。「あいさつ」から始まるコミュニケーションはまちを明るくするでしょう。

【1面関連】

新成人へエール

福生市町会長協議会では、今年も「新成人」に向けてエールを送り、町会・自治会紹介パンフレット及び記念品として印鑑フォルダーを贈呈しました。

これまでに学んだこと、経験したことを、ぜひ、地域のイベント等で発揮していただきたいと願います。そのための協力は惜しみません。



町会・自治会イベントに参加しませんか?

各町会・自治会では、盆踊りや餅つきなど、様々なイベントを企画し、実施しています。ぜひ一度、気軽にイベント等に参加していただき、楽しい雰囲気を楽しんでください。

町会・自治会のイベント情報や紹介等については、福生市協働推進課(電話551-1590)までお問い合わせください。

会報「ちいき」編集委員(平成29年3月)

編集委員長 上村 喬

編集委員 春日 廣信・村野 実・佐藤 義則・細谷 一郎